

第40回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

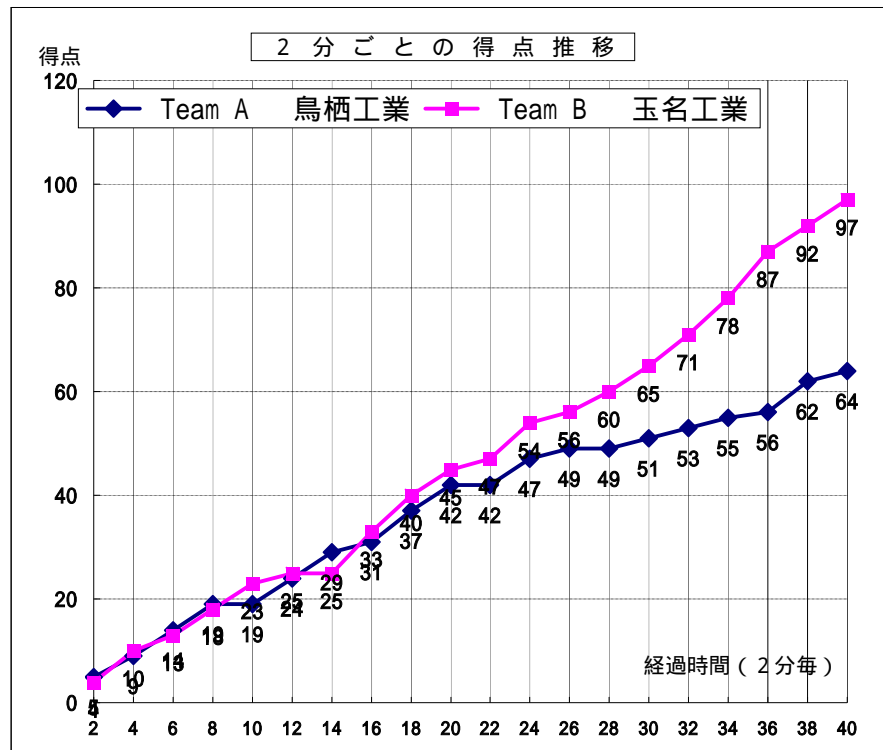
男子 1回戦

試合日	2010年2月13日
開始時間	09:30
会場	西原町民体育館
コート	B
試合順	1

Team A		Team B
鳥栖工業	64	97
佐賀2位		熊本1位

Team A 鳥栖工業																	
S	選手名	PTS	3 P		2 P		FT		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	PT
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
4	鷺池 卓哉	20	4	8	3	5	2	2	0	1	7	8	2	1	1	0	40:00
5	長野 貴司	0	0	0	0	3	0	0	1	0	1	1	3	0	0	0	09:51
6	荒巻 慎司	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:00
7	副島 祐治	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:00
8	弓 優太	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:00
9	井上 裕介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:00
10	中尾 駿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:00
11	永重 知靖	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:00
12	山口 翔平	32	1	3	12	21	5	8	5	1	3	4	5	0	0	0	32:08
13	大串 悠祐	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:00
14	八谷 克寿	4	1	8	0	5	1	4	2	0	3	3	1	3	2	0	38:01
15	松田 真弥	2	0	1	1	8	0	0	0	0	5	5	1	1	2	0	40:00
16	園田 哲史	4	0	0	1	2	2	4	1	1	5	6	1	1	0	0	17:10
17	高尾 諒	2	0	0	1	4	0	0	3	1	4	5	2	1	0	0	22:50
18	高尾 昌樹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:00
Team / Coach: 小島 渉																	
合計		64	6	20	18	48	10	18	12	4	28	32	16	7	5	0	200
RATE			30.0%		37.5%		55.6%										

Team B 玉名工業																	
S	選手名	PTS	3 P		2 P		FT		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	PT
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
4	上原 大輝	20	0	0	9	14	2	4	3	8	4	12	1	1	0	0	29:42
5	斗山 奨貴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:00
6	野村 友樹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:00
7	山下 宗一郎	26	5	11	4	9	3	4	2	2	3	5	2	1	0	0	30:52
8	上原 克也	6	2	2	0	1	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	05:44
9	藪崎 康平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:00
10	敷村 大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:00
11	池上 健造	2	0	2	1	4	0	0	3	2	5	7	1	2	0	0	22:11
12	井上 敏一	19	4	9	2	6	3	4	4	3	10	13	2	4	1	1	37:15
13	平山 知樹	18	0	4	9	16	0	0	2	3	3	6	1	4	0	0	37:47
14	山下 直人	4	0	3	2	9	0	0	1	3	6	9	1	2	2	0	34:16
15	松岡 拓夢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:00
16	谷口 直弥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:00
17	本山 亜沙人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:00
18	浦島 恵人	2	0	2	1	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	02:13
Team / Coach: 吉野 勉																	
合計		97	11	33	28	60	8	12	15	22	36	58	9	14	3	1	200
RATE			33.3%		46.7%		66.7%										



タイムアウトは経過時間で表示しています

CTO	1・2 P	3・4 P	OT 1	OT 2	OT 3	OT 4
TeamA		25:08	34:26			
TeamB						

戦評

玉名工業 オールコートマンツーマン 鳥栖工業 ハーフコートマンツーマンでスタート。
 玉名#12(井上)を中心に、試合を展開 鳥栖工業はパッシングやドライブでゲームを展開する。
 鳥栖工業#4(鷺池)、#12(山口)の1対1で得点をかさね、一進一退の展開。
 残り3分、鳥栖工業は#12(山口)、#14(八谷)、#16(園田)の速攻で19-13のリードを奪うが、玉名#4(上原)のポストプレー、#7(山下)の3Pで再逆転し、第1P終了。
 第2P、鳥栖は#4(鷺池)、#14(八谷)のドライブが決まり、29-25とリードでスタートを切る。
 玉名を粘りを見せ、#7(山下)、#12(井上)の3Pで再逆転。
 終盤には、#7(山下)の連続3Pで45-42と玉名工業が3点リードで前半終了。
 後半玉名は、DFのあたりが強くなり、またオフェンスリバウンドを取り優位に試合を進める。
 鳥栖#15(松田)のスチールからの得点でつながら、玉名も#13(平山)の速攻で、鳥栖はタイムアウトを取りゾーンに切りかえるが、ドライブが決まらず苦しい展開である。
 玉名は#4(上原)、#12(井上)のポストプレーや、リバウンドシュートで65-51とリードを広げた。
 第4P、鳥栖工業はトラップを仕掛けるが、玉名4(上原)の落ち着いたプレーで75-55と、残り5分20点にリードを広げた。
 玉名工業は後半の出だしに、鳥栖工業のドライブを止め、ポストを使った攻撃で着実に得点を重ね、#4(上原)、#12(井上)を中心に試合を優位に進めたゲームであった。

主審	石嶺 良方	副審	平良 将一	戦評	金城 バーニー
----	-------	----	-------	----	---------